

人権学習展開例

主 題 名 共生社会の実現に向けて（障害や障害のある人についての正しい理解と認識）

教 材 名 とともに生きる ～共生社会の一員として～

人権学習の視点 個別的な視点「障害のある人の人権問題」

主題・教材について 障害についての十分な知識や理解がないために、障害のある人に対して誤解や偏見が生じていることが依然として発生している。
ここでは、特に発達障害についての理解を深め、障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、パートナーとして支え合う共生社会を築こうとする心情と態度を養いたい。

ね ら い 発達障害についての理解を深め、障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、共生社会の一員として共に生きていこうとする心情と態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	障害にはどのようなものがあるのでしょうか。				
	○障害にはどのようなものがあるか問いかける。	一斉 個別	○障害にはいろいろな種類があり、その障害の名称と症状を理解させる。	○障害の中に発達障害があることを理解させる。	生徒資料 「障害の種類」 ワークシート 項目1
展 開	発達障害とはどのような障害かを考えよう。				
	○「天才って異常ということ」を読ませ、発達障害の人が社会で貢献していることを理解させる。 ○主な発達障害について理解する。 ○「E君の手記」を読んで、発達障害のある子どもの困難さを理解させるとともに、その解消法を整理させる。 ○先に整理した解消法は、全ての人の困難さを解消することにも繋がることを理解させる。	一斉 個別	○多くの分野で発達障害のある人が、社会で大きな貢献をしていることを理解させる。 ○主な発達障害（自閉症・LD・ADHD）について障害の特徴を理解させる。 ○作文を読んで発達障害による困難さが現れている所を書き出し、発達障害に対する理解を深めるとともに、その解消法を整理する。 ○全ての人の困難さを解消することにも繋がることを理解する。	○発達障害者支援法を理解させる。 ○発達障害の現れやすい状況の中には誰にでも該当することがあること。そのことを踏まえて、発達障害とは、その現れ方において日常生活や社会生活での対応を必要とする問題が生じた状況であることを理解させる。 ○主な発達障害の名前のみが一人歩きしないように注意すること。 ○発達障害の困難さの特徴を作文の中から読み取ることで、発達障害に対する理解を深める。 ○発展的な取組として養護学校卒業生の作文を活用してもよい。	生徒資料 「天才って異常ということ」 「主な発達障害」 ワークシート 項目2 生徒資料 「E君の手記」 「作文」 ワークシート
ま い り	共生社会の一員としてできることは何だろう。				
	○共生社会の一員としてできることを考えまとめさせる。	個別	○本時を振り返りながら感想を書く。	○障害のある人もない人もお互いを尊重し合うことを押さえる。	ワークシート 項目3

評 価

発達障害についての理解を深め、障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、共生社会の一員として共に生きていこうとする心情と態度を養うことができたか。